

(お知らせ)

令和3年3月25日

防 衛 省

1. 北朝鮮は、本日7時4分頃及び7時23分頃、北朝鮮の東岸の宣徳(ソンドク)付近から、合計2発の弾道ミサイルを東方向に発射した模様です。従来から北朝鮮が保有しているスカッドの軌道よりも低い高度を、いずれも約450km飛翔したものと推定されます。なお、落下したのは、我が国の排他的経済水域(EEZ)外と推定されます。
2. 防衛省から、政府内及び関係機関に対して、速やかに情報共有を行いました。
3. 総理には、本件について直ちに報告を行い、
 - ① 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
 - ② 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
 - ③ 不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示がありました。
4. これを受け、防衛大臣は「引き続き、情報収集・警戒監視に万全を期せ」との指示を出しました。その後、関係幹部会議を開催するなど、対応に万全を期しているところです。
5. 今般の北朝鮮の行動は、我が国と地域の平和と安全を脅かすものであり、これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射を含め、我が国を含む国際社会全体にとっての深刻な課題です。
6. 防衛省・自衛隊としては、引き続き、米国等とも緊密に連携し、大臣指示に基づき情報の収集・分析及び警戒監視に全力をあげるとともに、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速や

かに発表することとします。